

公共施設マネジメントの推進

～次世代に負担を先送りしないために～

2021年4月

豊岡市 公共施設マネジメント推進室



1. 公共施設マネジメント推進の背景

- ・全国の自治体で公共施設の老朽化が大きな問題
➡2012年12月 中央自動車道 笹子トンネル天井板落下事故
- ・本市でも公共施設（庁舎、学校、コミュニティセンター、図書館、ホールなどの建築物）の多くが既に老朽化し、今後、一斉に改修や建替えの時期が到来
- ・2005年の市町合併に伴い、旧市町時代に整備された用途や目的が重複している施設を、そのまま引き継いだ

公共施設マネジメントとは

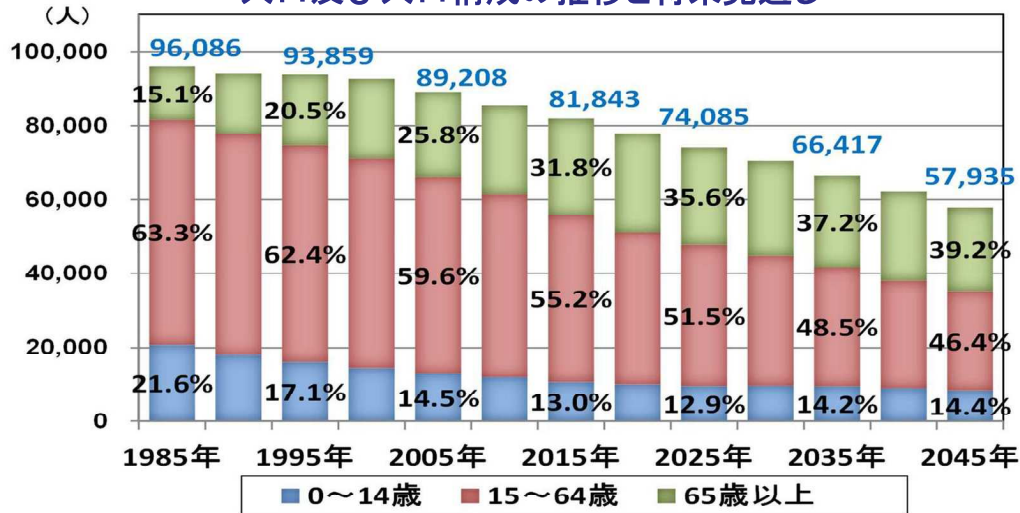
公共施設の建替えなどに伴う**多額の財政負担を軽減**させ、**施設サービスの水準を適切に維持**していくため、**計画的維持修繕による長寿命化**や**施設保有量の最適化(総量縮減)**に取り組むこと

2. 豊岡市の公共施設の現状と課題

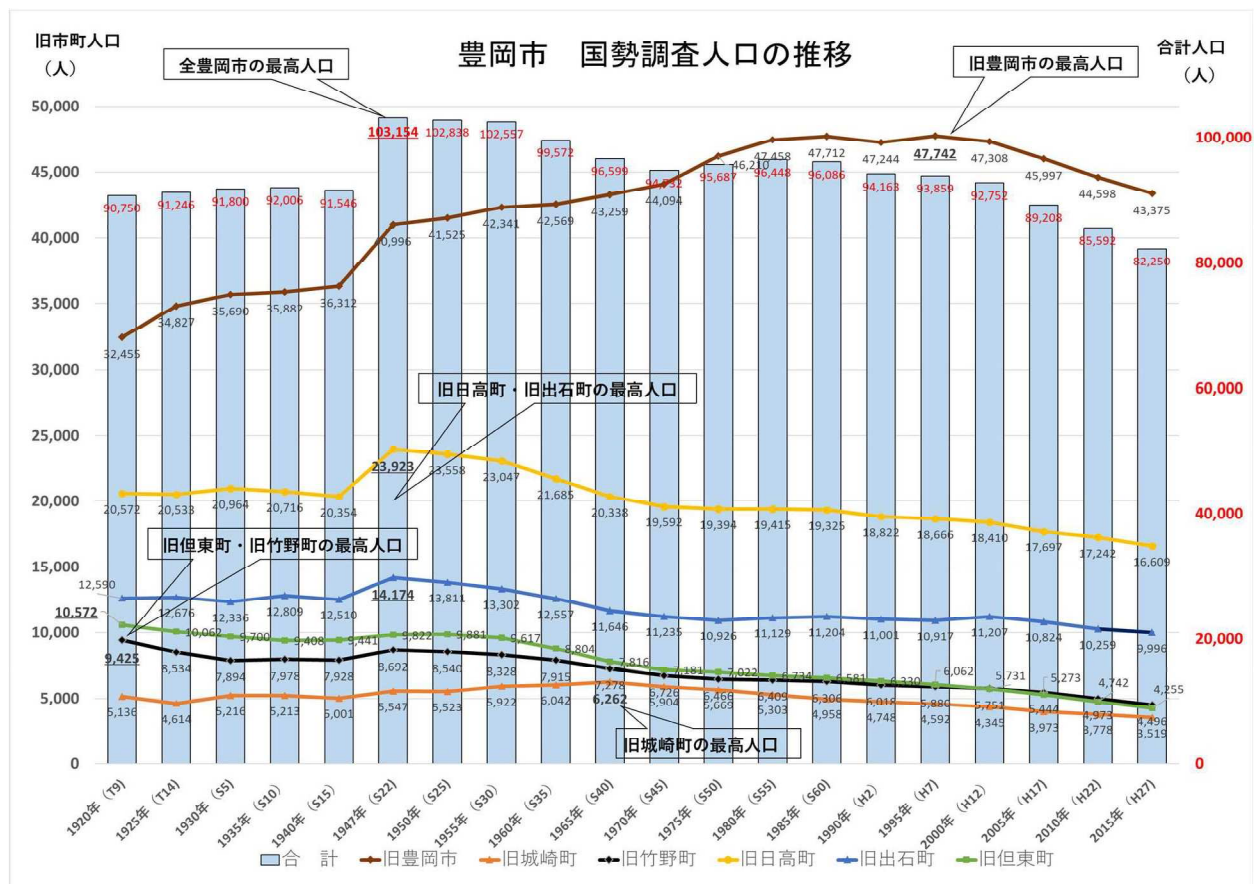
(1) 人口減少による財政への影響

- ① 働き盛り世代の減少による税収の減少
- ② 市町合併で優遇されてきた普通交付税が縮減
⇒ **建替えなどに対する財源が一層不足**

人口及び人口構成の推移と将来見通し

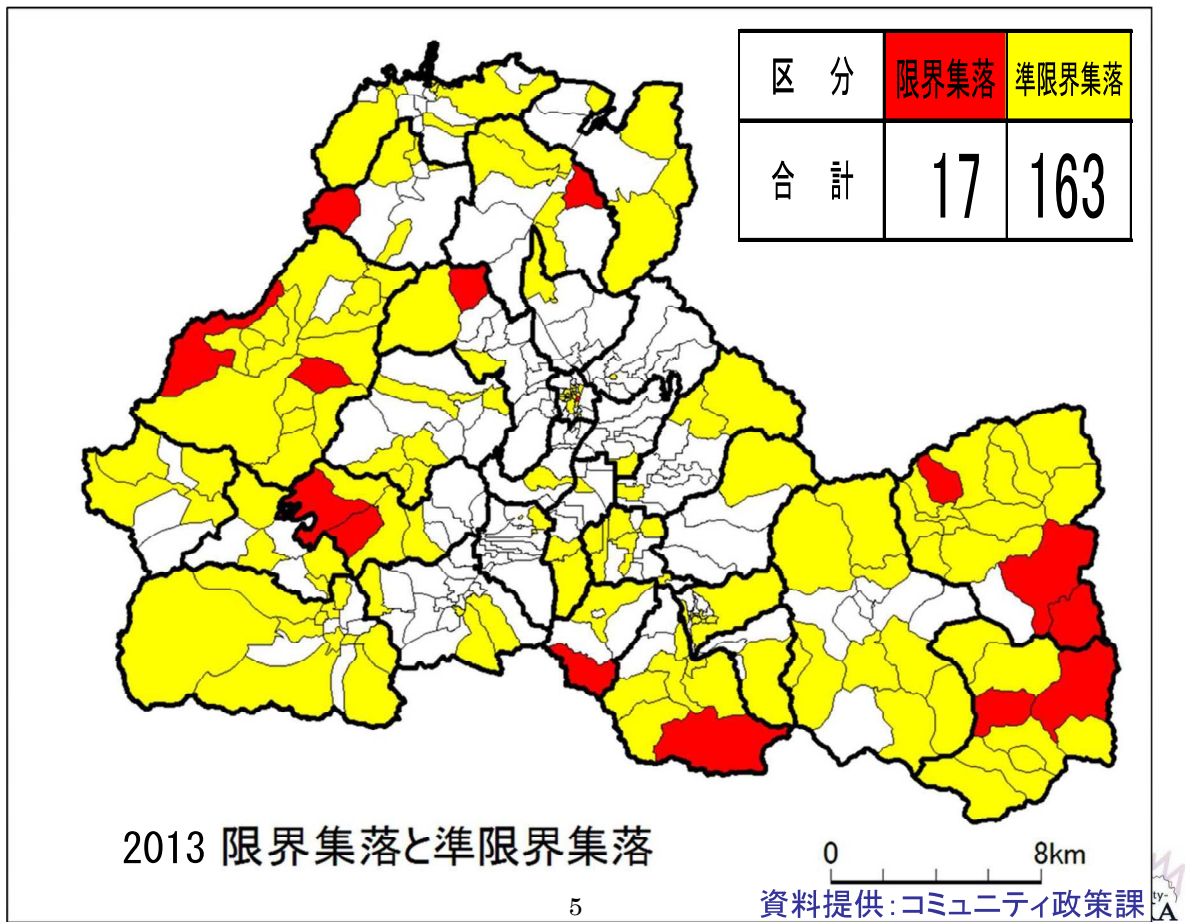
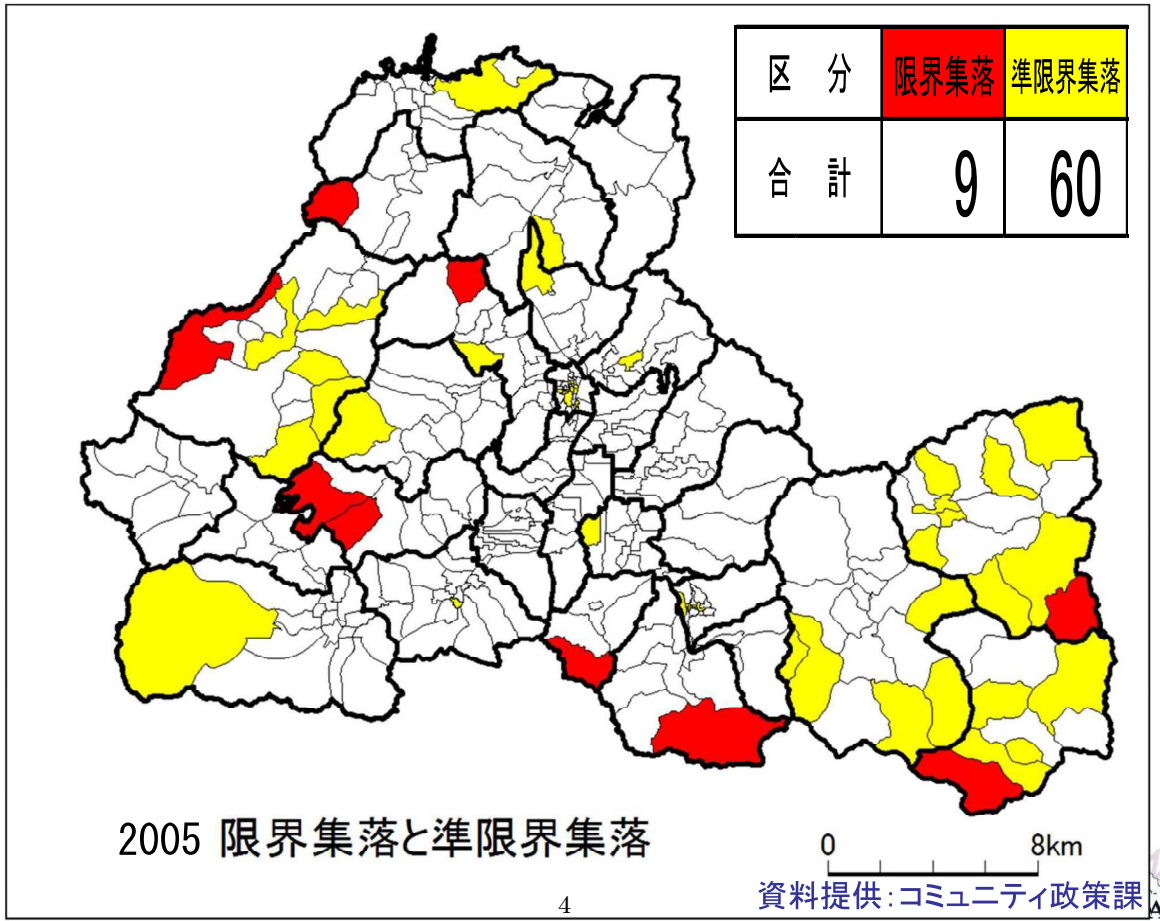


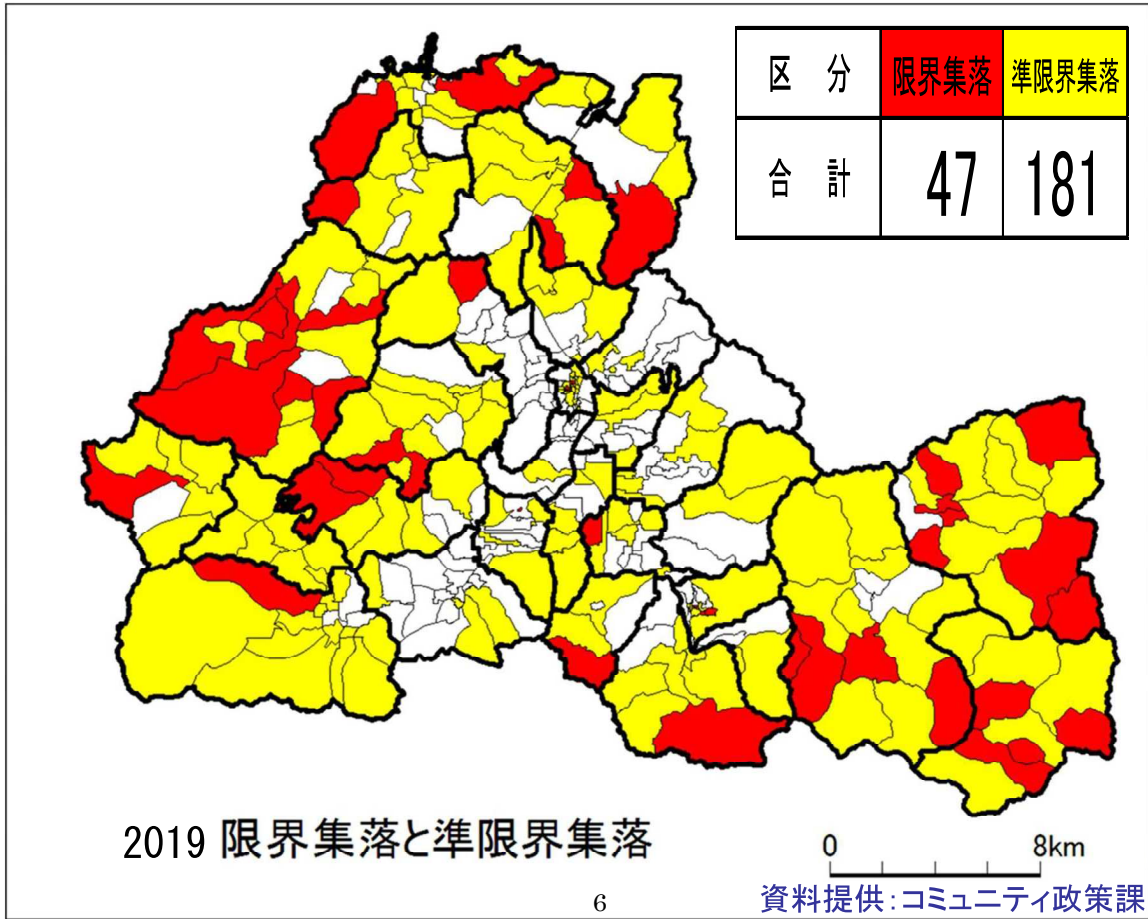
2



3



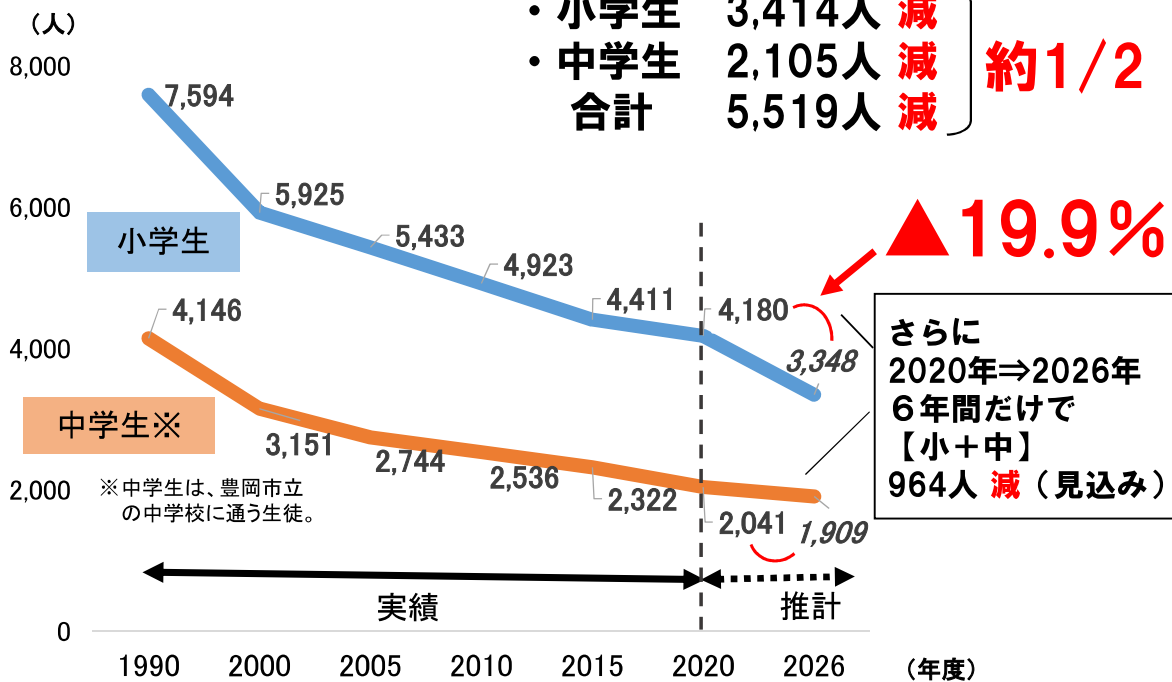




児童・生徒数の推移

1990年⇒2020年

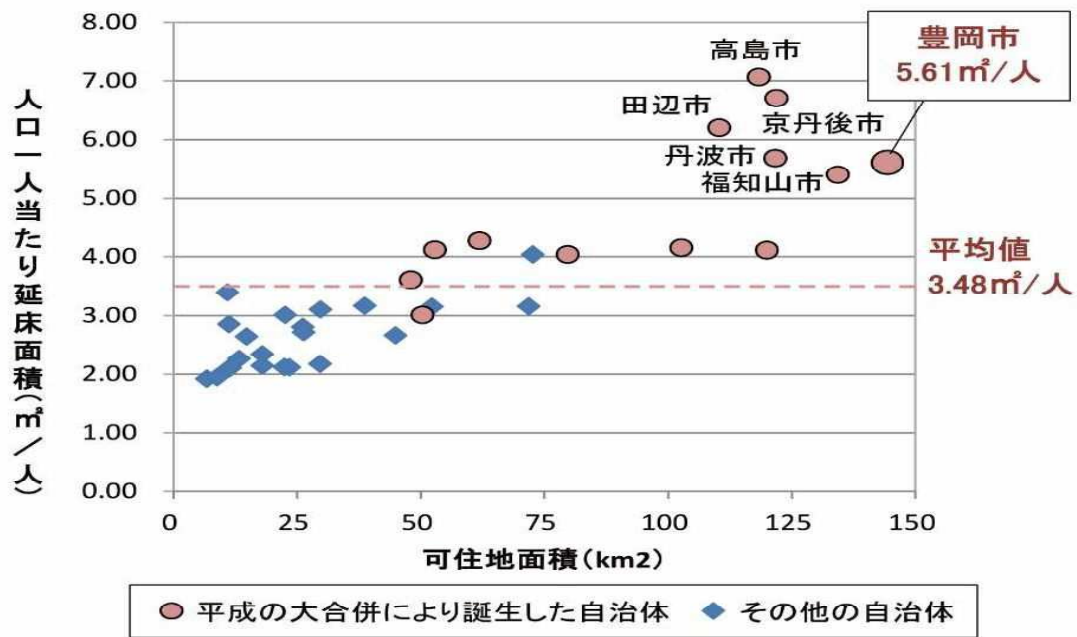
- 小学生 3,414人 減
 - 中学生 2,105人 減
 - 合計 5,519人 減
- 約1/2



兵庫県教育委員会 統計資料(各年5月1日現在) 豊岡市住民基本台帳(2020年4月8日現在) より

(2) 保有量が多く老朽化する施設

- ・574施設、総延床面積48.7万㎡（市民一人当たり5.6㎡）を保有。
その規模は類似都市平均の1.6倍（2014.4.1現在）

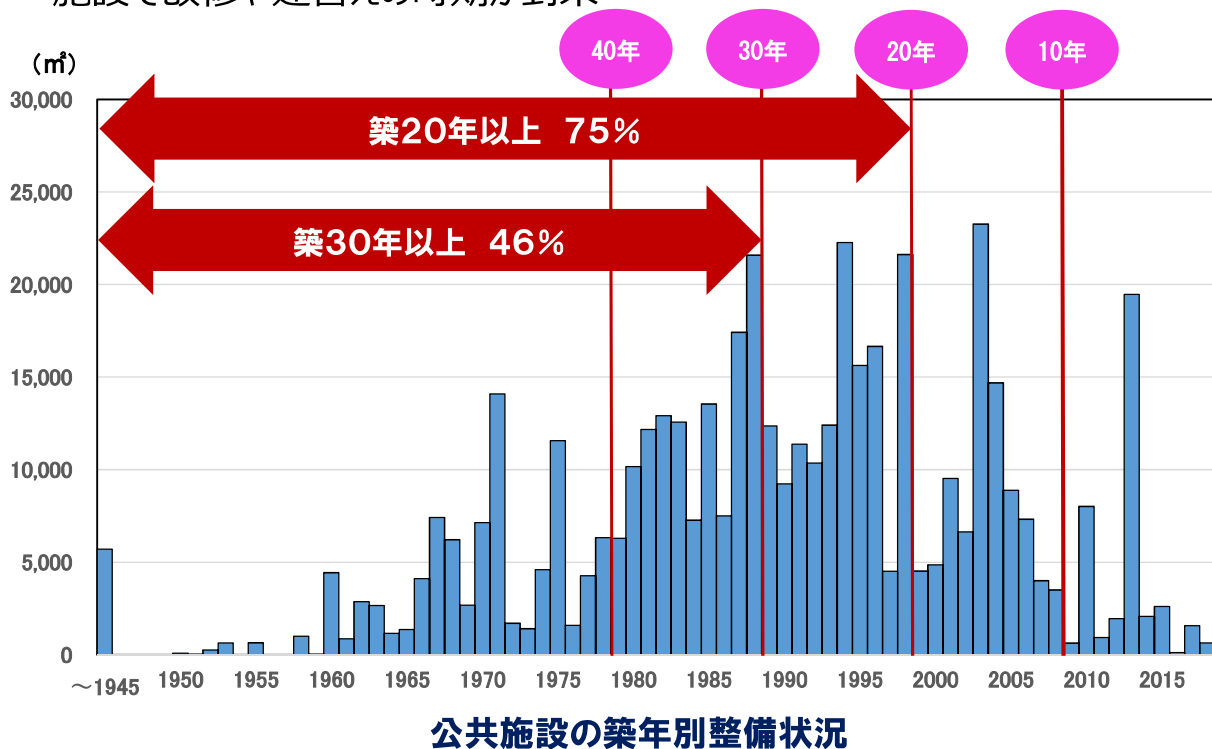


人口一人当たり延床面積の類似団体との比較

8



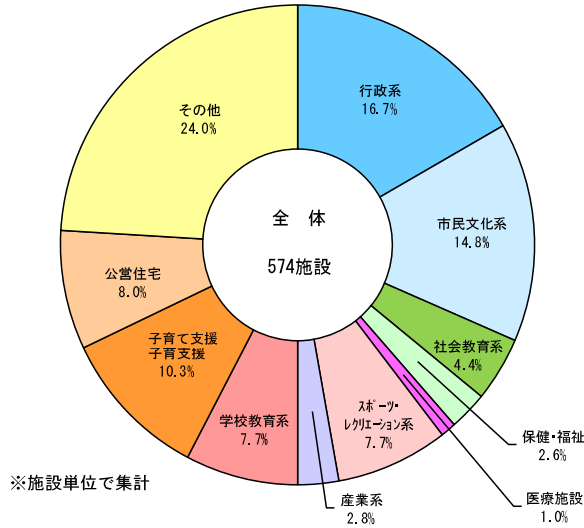
- ・10年後には築30年を経過する施設が75%に達するなど、今後、多くの施設で改修や建替えの時期が到来



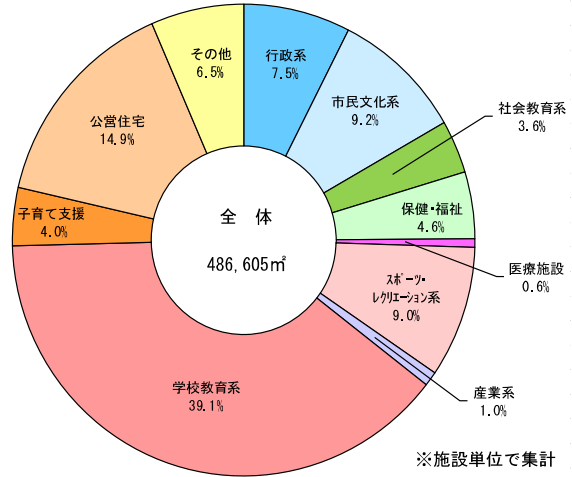
9



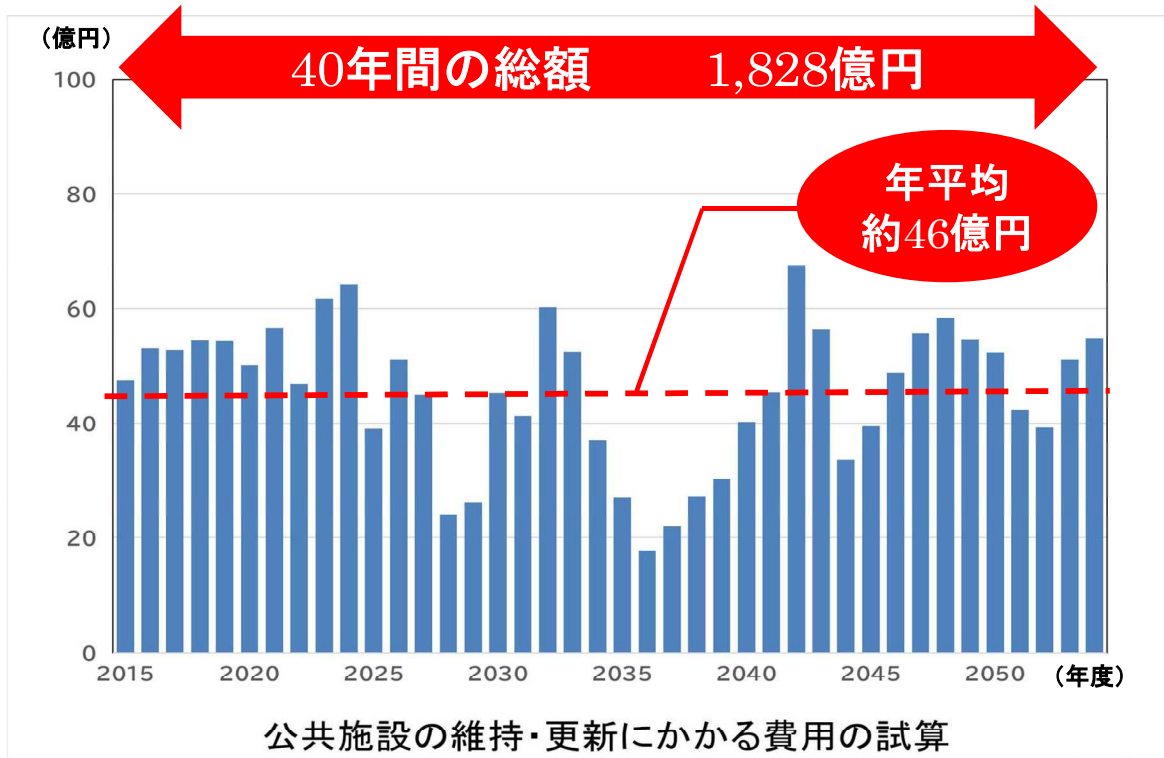
施設分類別の施設数構成比



施設分類別の延床面積構成比



・現在の施設をそのまま維持・更新する費用を試算すると、今後40年間で総額1,828億円、年平均で約46億円が必要



3. 施設保有量の数値目標

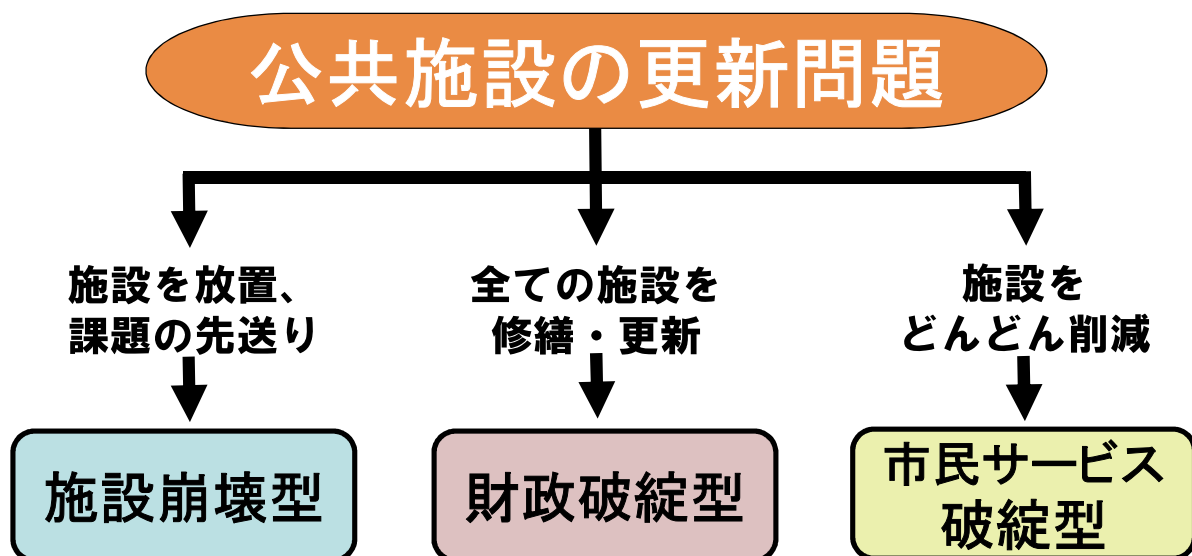
- ・施設の更新に必要な約**46億円/年**に対して、**充当できる経費は21.2億円/年**（長期財政見通し（2016年5月公表）から試算）
- ・不足額解消のためには、長寿命化（施設を有効活用して長く使用）とあわせて、40年間で**公共施設の延床面積を34%削減することが必要。**

今後の方針	条件	1年当たりの更新費用	40年間の更新費用の総額
長寿命化+延床面積削減	<ul style="list-style-type: none"> ・建替え80年 ・大規模改修40年 ・延床面積34%削減 	21.2億円	849億円

12



4. 将来の公共施設のあり方



- 1 必要な機能(市民サービス)を確保し市民の暮らしを守る。
- 2 次世代に負担を先送りしない。

13



5. 公共施設の再編に係る手法（例）

(1) 機能や施設は必要だが、保有する施設の規模や施設数を削減する必要のある施設

<p>① 統廃合</p>	<p>・設置目的が同じである同一機能をもつ複数施設を、利用状況や近接性等を考慮して統合</p>	
<p>② 多機能化 (複合化)</p>	<p>・独立施設である必要のない施設のもつ機能を地域の拠点施設に移転し、設置目的が異なる施設を複合的に利用</p>	
<p>③ 類似機能の 共用化</p>	<p>・設置目的は異なるが、会議室等の類似する機能をもつ複数施設を、利用状況や近接性等を考慮して統合</p>	

14

Local & Global City
TOYOOKA

<p>④ 広域化</p>	<p>・国、県、近隣市町との広域連携により、地域外の住民も利用可能な施設を共同保有・相互利用</p>	
--------------	--	--

(2) 機能は必要だが、施設を保有する必要のない施設

<p>① 民間ソフト 移管)</p>	<p>・施設を民間事業者に譲渡する、または施設を廃止し、市民には民間施設を利用してもらう。 ・自治会等に施設を譲渡する。</p>	
<p>② 代替ソフト サービス)</p>	<p>・情報通信技術等を用いることにより施設を用いないサービス提供方法へ変更する。</p>	

15

小さな世界都市
Local & Global City
TOYOOKA

6. 本市の取組み

(1) 多機能化（複合化） (1)-②実例

・各庁舎では、旧町時代の空きスペース（議場など）を地区コミュニティセンターや 図書館分館、子育てセンター等として有効利用

区 分	複合施設
城崎庁舎	地区コミュニティセンター、子育てセンター、図書館分館
竹野庁舎	地区コミュニティセンター、図書館分館
日高庁舎	子育てセンター、図書館分館、(商工会)
出石庁舎	地区コミュニティセンター、子育てセンター、図書館分館
但東庁舎	地区コミュニティセンター、子育てセンター、図書館分館、 消防本部駐在所、歯科診療所、(商工会、観光協会)

16

Local & Global City
TOYOOKA

(2) ソフト化（民間移管） (2)-①実例

ア 地区集会施設の地元譲渡

従前：法定耐用年数が経過した施設から順次地元へ譲渡。

今後：基本10年を経過し、補助金所管省庁等の承認を得た施設、起債償還が済んだ施設は、早期に地区に譲渡。

イ 2019年7月時点の状況

32施設

ウ 2019年度末 17施設を譲渡済み

(豊岡1、竹野1、日高8、出石6、但東1)

2020年度末 8施設を4月に譲渡済み

(城崎1、日高5、但東2)

2021年度末 1施設を4月に譲渡予定

(竹野1)

エ 2021年度末見込み

6施設

△26施設

総量削減の成果 $5,014.70\text{m}^2 \div 48.7\text{万m}^2 = 1.0\%$

17

Local & Global City
TOYOOKA

【参考】

・ 出石文化会館（除却） (1)-①実例

→市が除却→売却益・雇用・税收

総量削減の成果 $2,423.12\text{m}^2 \div 48.7\text{万m}^2 = 0.5\%$

・ 出石温泉館乙女の湯（譲渡） (2)-①実例

→建物譲渡、土地貸付→雇用・税收

総量削減の成果 $532.70\text{m}^2 \div 48.7\text{万m}^2 = 0.1\%$

・ 旧森本中学校（売却） (1)-①実例

→土地・建物売却→売却益・雇用・税收

総量削減の成果 $2,954.00\text{m}^2 \div 48.7\text{万m}^2 = 0.6\%$

(3) 公共施設整備基金の設置

ア 2017年12月 公共施設の整備、除却等に要する資金を確保するため、基金を設置。

イ 財政調整基金から70億円を積替えて、用途目的を明確にした。

ウ 将来の財政負担に備え、公共施設整備基金、市債管理基金を優先的に確保する。

エ 2019年度末、同基金の残高76.9億円。

(4) 個別施設計画の策定

・個別施設の具体的な対応方針を定めるもの

策定済みのもの

- ア 公園施設長寿命化計画・・・2014年3月策定
- イ 橋梁長寿命化修繕計画・・・2020年3月策定
- ウ 公営住宅等長寿命化計画・・・2019年3月策定
- エ コミュニティセンター・・・2019年3月策定
- オ 体育施設等・・・2019年12月策定
- カ 学校施設・・・2020年1月策定 など

2021年度

公共施設等
総合管理計画

を改訂

未策定施設 ➡ 2021年3月に策定

- ア 出石庁舎を除く各庁舎
- イ 健康福祉センター、診療所等の健康福祉関連施設
- ウ 温泉・博物館等の観光・文化関連施設
- エ 幼稚園・こども園等の子育て関連施設
- オ 公衆便所
- カ 消防団車庫・倉庫 など

20



7. 配置・機能を維持する施設の方向性

(1) 庁舎・消防施設

・豊岡市役所、豊岡市役所立野庁舎、振興局庁舎、常備消防である消防施設（各地域の消防署・分署など）は、現在の配置・機能を維持
ただし、日高分署、城崎分署竹野出張所については、庁舎との複合化などを検討

(2) コミュニティセンター

・地域コミュニティ組織による住民自治の活動拠点としていくため、現在の配置・機能を維持

(3) 図書館

・市民の生涯学習の場を提供していくため、現在の配置・機能を維持
・良好な図書館サービスを提供するため、業務の一部又は全部委託などを含めた様々な方法を検討

21



(4) 医療施設

- ・無医地区における診療所は、現在の配置・機能を維持

(5) 中学校、小学校

- ・「豊岡市学校施設整備計画」に基づき、**将来の児童生徒数を踏まえた適切な手法**により、効率的・効果的な老朽化対策を実施
- ・長寿命化改修などを実施する際は、近隣の他の施設との複合化を検討
- ・より良い教育環境を確保していくため、保護者や地域住民との協議を推進
校区要望を受け、2021年4月に奈佐小を五荘小に統合。

港東小、港西小を統合し港小を設置。

2022年4月に中竹野小、竹野南小を竹野小に統合予定。

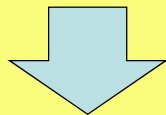
**→学校跡地は、市の財政負担も考慮し
利活用方策を検討します。**

8. 推進上の留意事項

- (1) 継続施設については、より**効率的・効果的な管理運営**を原則とする。
- (2) 新設は、**止むを得ないもの、真に必要なもののみ**とし、新設・再編に際し、活用上の**適正配置・地域性に配慮**する。
- (3) 「豊岡市地方創生総合戦略(平成27年10月策定)」に定めた人口減少対策や、住民の参画による地域の活性化に資する施設にあつては、**機能の強化や充実を図る**よう検討する。

9. 現在の取組み

「地域デザイン懇談会」を開催
(2020年～2021年)

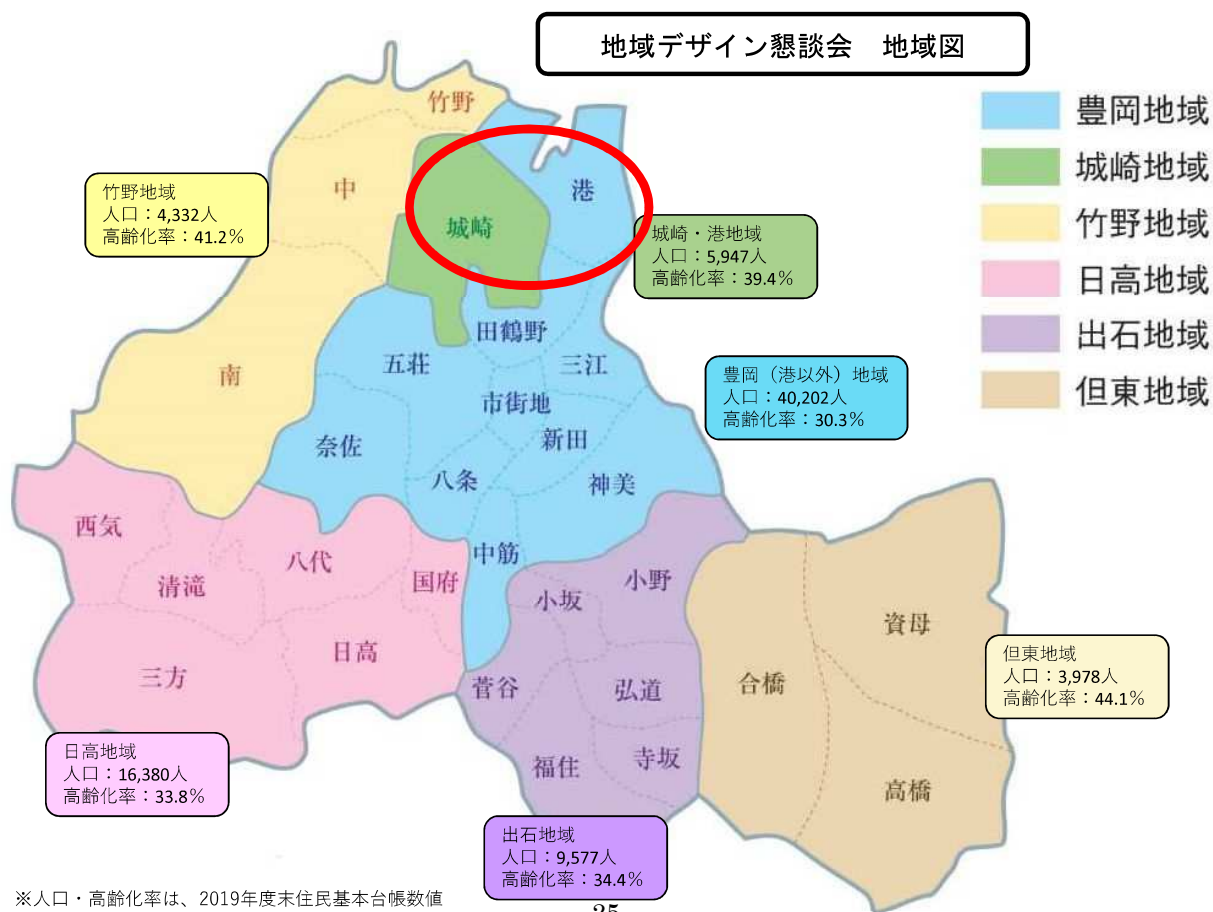


旧市町単位を基本に設置し、地域に必要な施設・機能を市民の方々と一緒に協議・検討する。

※ 新型コロナウイルス感染症の影響により開催スケジュールを延期・手法を変更

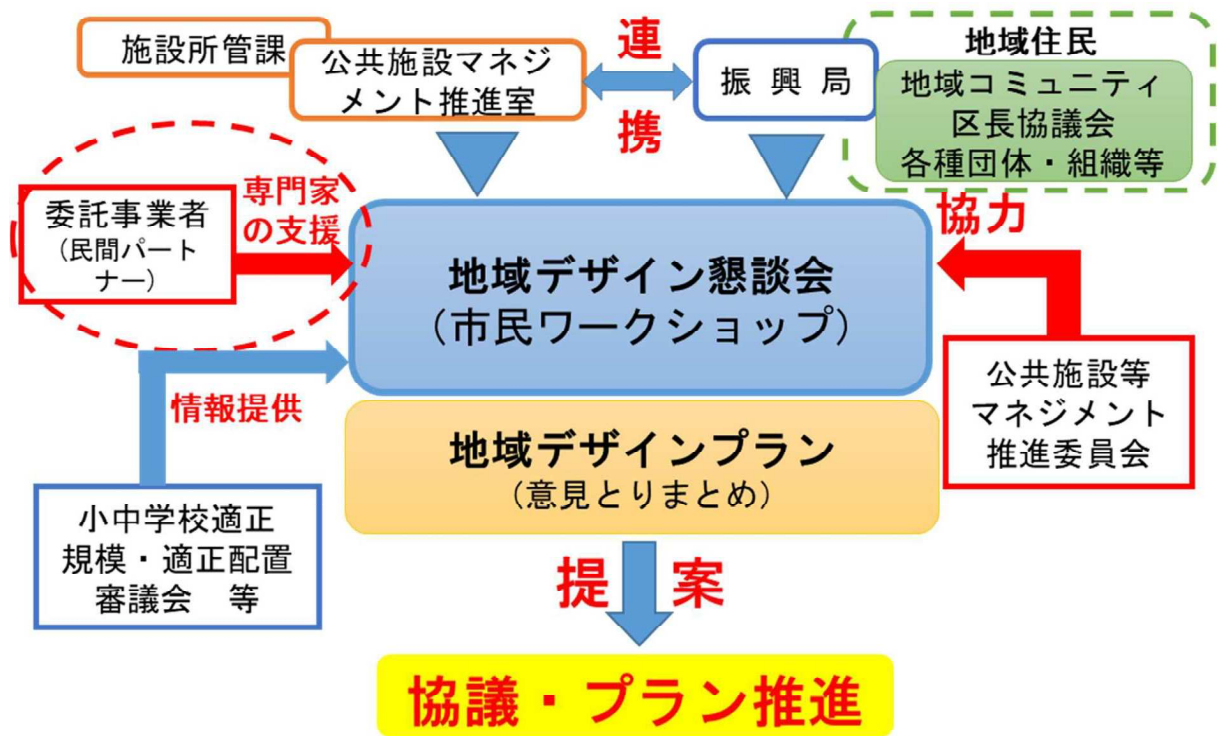


24



25

地域デザイン懇談会 イメージ図

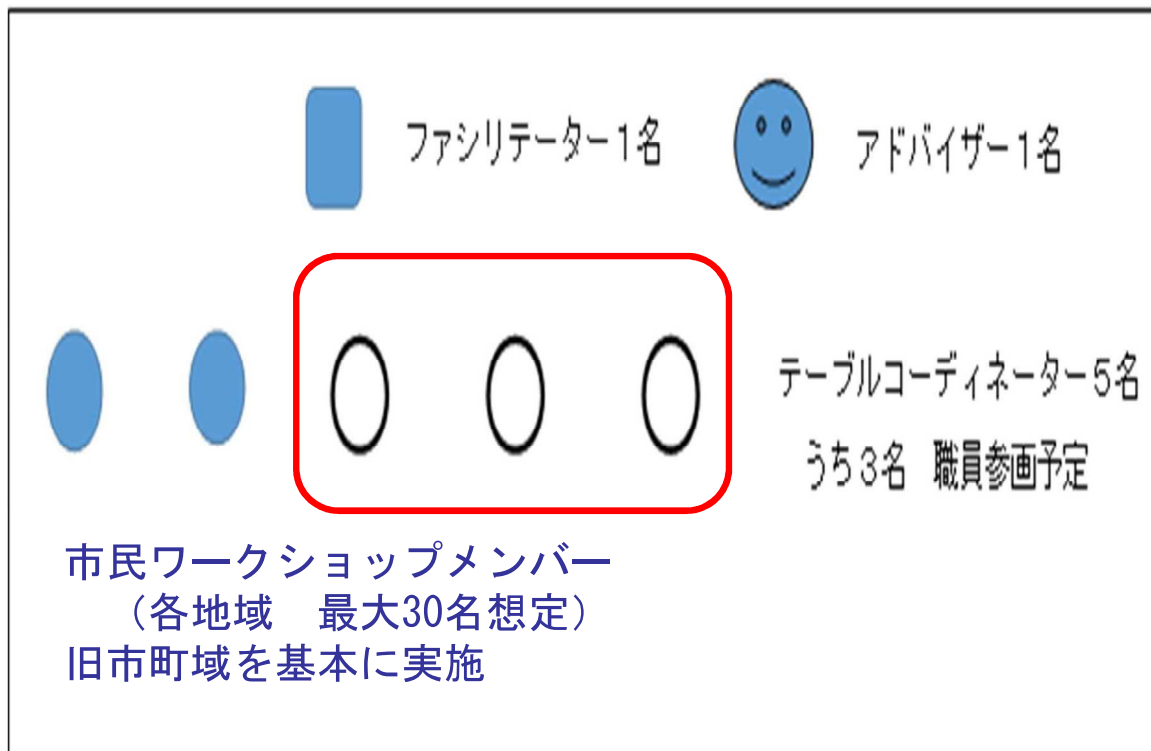


26

パートナー: 豊岡地域デザイン検討支援(八州・キタイ設計・人まち住まい研究所)共同事業体

地域	担当
豊岡地域	(株)八州まちづくり技術部
竹野地域	
但東地域	
城崎・港地域	(同)人・まち・住まい研究所
出石地域	
日高地域	キタイ設計(株)

27



(1) 開催予定

振興局と連携をとりながら、各地域で各6回の懇談会を開催予定
第1回開催日程

開催日時	対象	会場
3月14日(日)10時～	竹野	竹野南地区コミュニティセンター
3月18日(木)19時～	城崎・港	市役所城崎庁舎
3月20日(土)9時30分～	但東	但東市民センター
3月20日(土)14時～	出石	出石多目的ホール
4月10日(土)13時30分～	日高	日高農村環境改善センター
4月17日(土)13時30分～	全市域	豊岡市民プラザ

(2) 旧豊岡市域での開催

第1回目は全市域対象の講演会・意見交換を開催

- ◎ 公共施設は、公共サービスを提供する手段
- × ハコモノ施設の維持そのものを目的にしない

～次世代に

負担と責任を先送りしないために～

「あったほうがいい」



「本当に必要なもの（機能）を賢く使う」